



2025年12月22日

株式会社 WALL 代表取締役 有井 安仁

国立大学法人和歌山大学 イノベーション・イニシアティブ基幹 教授 秋山 演亮

## 和歌山発、民間共同出資による宇宙産業推進

衛星などの宇宙技術を活用し、地域社会の課題解決を目指す新たな挑戦

—人材育成を軸に、2028年の衛星打ち上げ目指す—

和歌山県には、ロケット射場をはじめとする宇宙関連の地域資源が集まりつつあります。株式会社 WALL は、こうした環境を活かし、人工衛星をはじめとする宇宙技術を地域社会の課題解決に活用することを目的として設立されました。防災・減災、産業の持続性確保、地域インフラの維持といった課題に対し、宇宙技術を「遠い先端技術」ではなく、地域の現場で実際に使われる実装技術として根付かせることを目指します。また、民間企業が共同で出資し、地域に根ざした宇宙技術活用のプラットフォームを構築する取り組みは、全国的にも例のない挑戦です。

### ■ 株式会社 WALL 設立の趣旨と概要

株式会社 WALL は、超小型人工衛星の設計・製作・運用を行う株式会社アークエッジ・スペース（本社：東京都江東区）と、和歌山県内を中心とした企業6社により設立された、民間主導による宇宙産業推進プラットフォームです。今後は和歌山県内企業を中心に、大学・行政・宇宙関連企業と連携し、衛星などの宇宙技術を活用して地域社会の課題を解決するための人材と仕組みを育てることを目指します。

宇宙産業は今後大きな成長が見込まれる分野である一方、地方においては、

- ・専門的な技術や知識へのアクセスの難しさ
- ・実践的に学び、使いこなす人材の不足
- ・地域課題と結びついた実証・実装の場の不足

といった課題があります。

WALL は、こうした課題に対し、民間主導で産学官をつなぐ「実践の場」を構築し、和歌山において宇宙技術を地域で使いこなせる人材と企業の基盤を育てていきます。

## ■ 株式会社 WALL 概要

株式会社 WALL は、超小型人工衛星の設計・製作・運用を行う株式会社アークエッジ・スペース（本社：東京都江東区）と、和歌山県内を中心とした企業 6 社により設立された、民間主導による宇宙産業推進プラットフォームです。

## ■ WALL の位置づけ

WALL は、人工衛星の製造だけを目的とする会社ではありません。主な役割は以下の点にあります。

- ・ 宇宙技術を地域課題解決に活用できる人材の育成・能力構築
- ・ 地域における宇宙産業人材の育成とスキル獲得の機会創出
- ・ 企業や研究者が共同で学び、実践できるプロジェクトの組成
- ・ 宇宙分野への参入に必要な技術・知識・ネットワークの提供

人工衛星の製造や運用は、これらを実現するための**実践テーマの一つ**として位置づけています。

## ■ 民間主導・共同出資による宇宙産業推進モデルの独自性

全国的に見ても、同一地域で複数の民間企業が共同で出資し、宇宙技術の社会実装と地域課題解決を目的としたプラットフォームを構築する事例は多くありません。WALL は、複数の民間企業が参画し、**人材育成から実装までを一体的に進める、全国的にも珍しい民間主導モデル**です。この仕組みにより、特定分野に偏らないプロジェクト組成や、実社会のニーズを反映した継続的な取り組みが可能となります。

## ■ なぜ衛星製造から始めるのか

超小型人工衛星の製造・運用は、設計、製造、試験、運用、データ活用といった宇宙技術の主要要素を一体的に学ぶことができる分野です。

WALL では、地域社会の課題解決に宇宙技術を活かすための人材育成の第一歩として、衛星製造を「学びと実践の場」として位置づけています。

## ■ 和歌山という立地を活かした実践的な人材育成

和歌山県には、わが国初の民間による衛星打ち上げロケット射場を目指すスペースポート紀伊（串本町）があり、運用を担うスペースワン株式会社が小型ロケット「カイロス」による商業宇宙輸送サービスの提供を始めています。

このように、人工衛星の製造から打ち上げまでを国内で一体的に捉えられる環境が、和

歌山には整いつつあります。

WALL は、こうした地域資源を活かし、和歌山において人材が宇宙産業に必要なスキルを、実践を通じて獲得できる環境構築を進めていきます。

#### ■ 和歌山大学との共同研究の意義

和歌山大学は、人工衛星の製造・打ち上げ・運用に関する実績を有し、衛星データの受信・活用が可能な口径 12 メートルの大型パラボラアンテナを備えています。

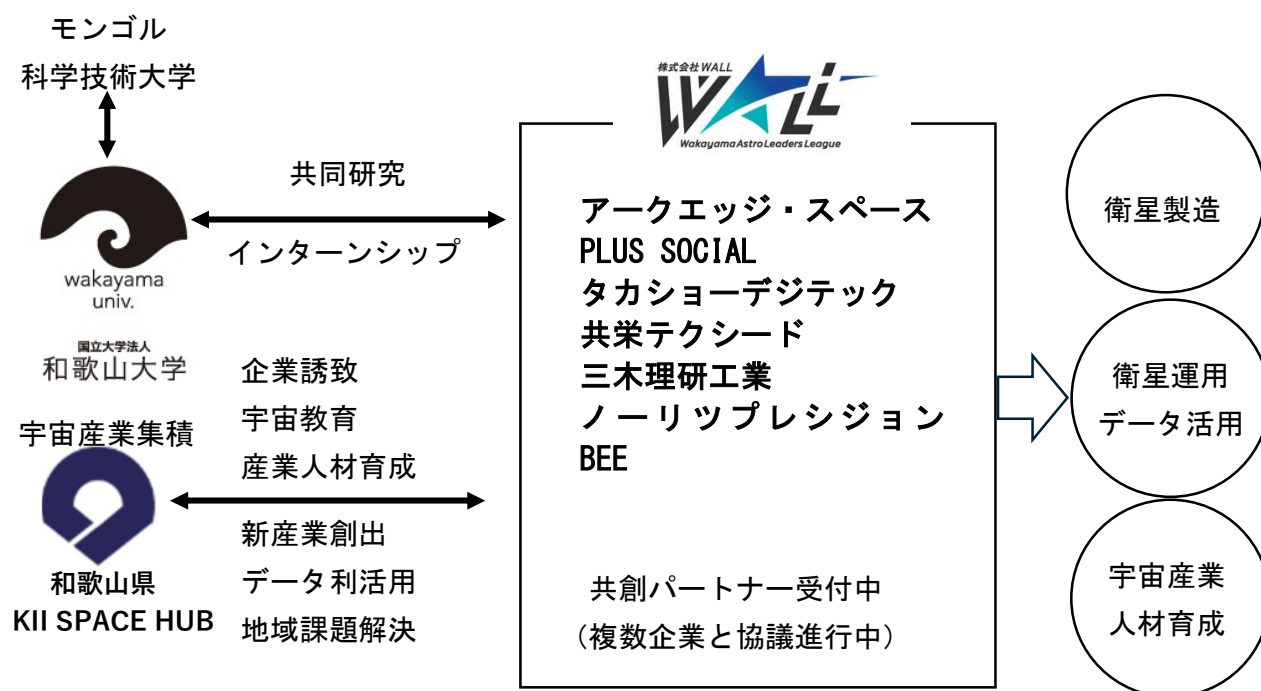
また、和歌山大学には、内閣府委員会の座長として宇宙人材スキル標準の策定を主導してきた秋山演亮 イノベーション・イニシアティブ基幹 教授が在籍しています。

秋山教授は、衛星利用も可能な広域通信網を活用し、自然災害時の情報取得や、シカ畠の遠隔監視など、宇宙技術を実社会の課題解決に結びつける研究・実装に取り組んできました。

WALL と和歌山大学が共同で進める「宇宙産業人材の実践的育成手法の研究」では、以下の人材を対象に、地域課題解決までを見据えた実践的な人材育成モデルを構築します。

- ・ 地上設備・機器の製造、整備、運用を担う人材
- ・ 人工衛星の製造、打ち上げ、運用に関わる人材
- ・ 衛星による地球観測、IoT 利用、通信などを実利用できる人材

#### 【宇宙関連産業の創出に向けた連携図】



## ■ 宇宙技術を活用した地域課題解決と BCP

WALL は、宇宙技術を活用し、防災・減災をはじめとする和歌山の地域課題解決に貢献することを重視しています。

人工衛星を用いることで、災害時の迅速な状況把握や通信確保が可能となり、県民の命、県内企業ではたらく人々やその家族の命を守るための重要な情報基盤となります。

これらの取り組みは、企業にとっての BCP（事業継続計画）強化にも直結します。災害時においても事業判断に必要な情報を確保できることは、企業活動を継続する上で重要な要素です。また、こうした仕組みは平時においても、インフラ監視、生産性向上、業務効率化などに活用できるデュアルユースとしての展開が可能です。

## ■ 出資参画企業の拡大について

株式会社 WALL では、設立時の出資企業に限らず、和歌山県内企業をはじめ、本取り組みに関心を持つ企業からの出資参画を、今後も積極的に受け入れていく方針です。地域の企業が主体的に参画し、大学・行政・他企業との価値共創を通じて、地域や産業の現場ニーズを踏まえた宇宙技術の活用および関連サービスの実装を進めるとともに、持続的な人材育成を実現していきます。

## ■ 今後の展望

WALL は、和歌山県が推進する宇宙まちづくり事業「KII SPACE HUB」とも連携しながら、宇宙技術による地域課題解決を起点とした民間主導の宇宙産業クラスター形成を目指します。そのひとつの節目として、2028 年の衛星打ち上げを目標に掲げ、人材育成・実証・実装を段階的に進めていきます。

## 株式会社 WALL 組織概要

### ■ 資本金

2,900 万円

### ■ 出資企業

※各社の出資金額については公表しておりません。

- 株式会社アークエッジ・スペース（本社：東京都江東区）  
超小型人工衛星の設計・製作、運用サービス
- 株式会社 PLUS SOCIAL（本社：京都市伏見区、支店：和歌山市）  
社会的投資開発、地域貢献型再生可能エネルギー事業
- 株式会社タカショーデジテック（本社：和歌山県海南市）  
屋外照明、LED サイン、イルミネーション事業
- 株式会社共栄テクシード（本社：和歌山市）

自動車・建設機械・農業機械向け部品製造

- **三木理研工業株式会社**（本社：和歌山市）  
繊維加工、仕上げ用合成樹脂、木質系用特殊接着剤の製造
- **ノーリツプレシジョン株式会社**（本社：和歌山市）  
写真処理機器、介護・医療関連機器の開発・製造
- **株式会社 BEE**（本社：和歌山市）  
Web・ホームページ制作、システム開発、マーケティング支援

#### ■ 事業内容

- 宇宙産業参入に向けた技術・知識の提供
- 企業間および産学官連携の促進
- 宇宙産業人材の育成・能力構築
- 販路・市場開拓の支援
- 資金調達および各種制度活用支援
- 

#### ■ 本社所在地

和歌山県和歌山市梅原 579-1

（ノーリツプレシジョン株式会社 内）

#### ■ 代表取締役

有井 安仁

（株式会社 PLUS SOCIAL 取締役）

#### ■ 問い合わせ先

株式会社 WALL

電話：073-424-0007

担当：有井、万沢

E-mail：info@wallspace.jp